令和４年度 議会報告会

磐田市公共施設等マネジメント検討特別委員会報告

1　委員会の目的と検討事項
2　委員会の調査検討経過
3　今後の進め方

磐田市公共施設等マネジメント検討特別委員会の報告をいたします。

1　委員会の目的と検討事項

①背景

- インフラ・公共施設が老朽化
- 少子高齢社会における財政の限界
- 財政負担の平準化・最適な施設配置

②市の取り組み状況

- 平成２５年　磐田市公共施設白書
- 平成２８年　公共施設等総合管理計画
- 令和　４年　公共施設等総合管理計画改訂

③磐田市議会の取り組み

- 令和４年２月定例会で磐田市公共施設等マネジメント検討特別委員会を設置
- 目的は「政策提言」「市民相互の共通認識づくり」

はじめに、委員会の目的と検討事項について説明します。

現在、日本経済の高度成長期を中心に整備された道路・橋脚などのインフラや公共施設（以下公共施設等と呼びます）が老朽化し、再整備の時期を迎えています。

しかし、少子高齢時代が到来し人口減少が進む中、地方自治体には、維持管理や財政の現状と見通しを踏まえた公共施設等の適切なマネジメントが求められています。

こうした課題認識のもと、磐田市では、公共施設等の維持管理に必要な財政負担の軽減と平準化を図るとともに、最適な施設配置を進めることで行政サービスの水準を確保するという目的達成のため、平成25年度に作成した「磐田市公共施設白書」をもとに、平成28年３月に「公共施設等総合管理計画」を策定、令和４年３月には個別施設計画の内容や取組の実績を踏まえた改訂が行われました。

しかし、社会環境の変化に対応した子育て・高齢者支援、年代毎の相談支援などの充実に加え、ゲリラ豪雨など自然環境の変化に伴う災害対策など、新たな公共投資の必要性も高まっています。

磐田市議会では、今後の社会環境や市民ニーズの変化を踏まえた提言を行うとともに、市民相互の共通認識を深めるための機関として、令和４年３月24日、２月定例会の全員協

議会において、磐田市公共施設等マネジメント検討特別委員会を設置しました。
　令和４年度末に中間報告を行い、令和５年度末を目途に検証結果をもとにした政策提言を提出する計画で、調査検討を進める予定です。

2　委員会の調査検討経過

＜調査検討経過＞

① 3月24日　正副委員長の選出

② 5月11日　公共施設等総合管理計画について

③ 6月24日　調査スケジュールの決定

④ 7月20日　施設類型別の課題について

⑤ 8月19日　大学教授による課題提起

⑥ 8月24日　施設類型別の課題について

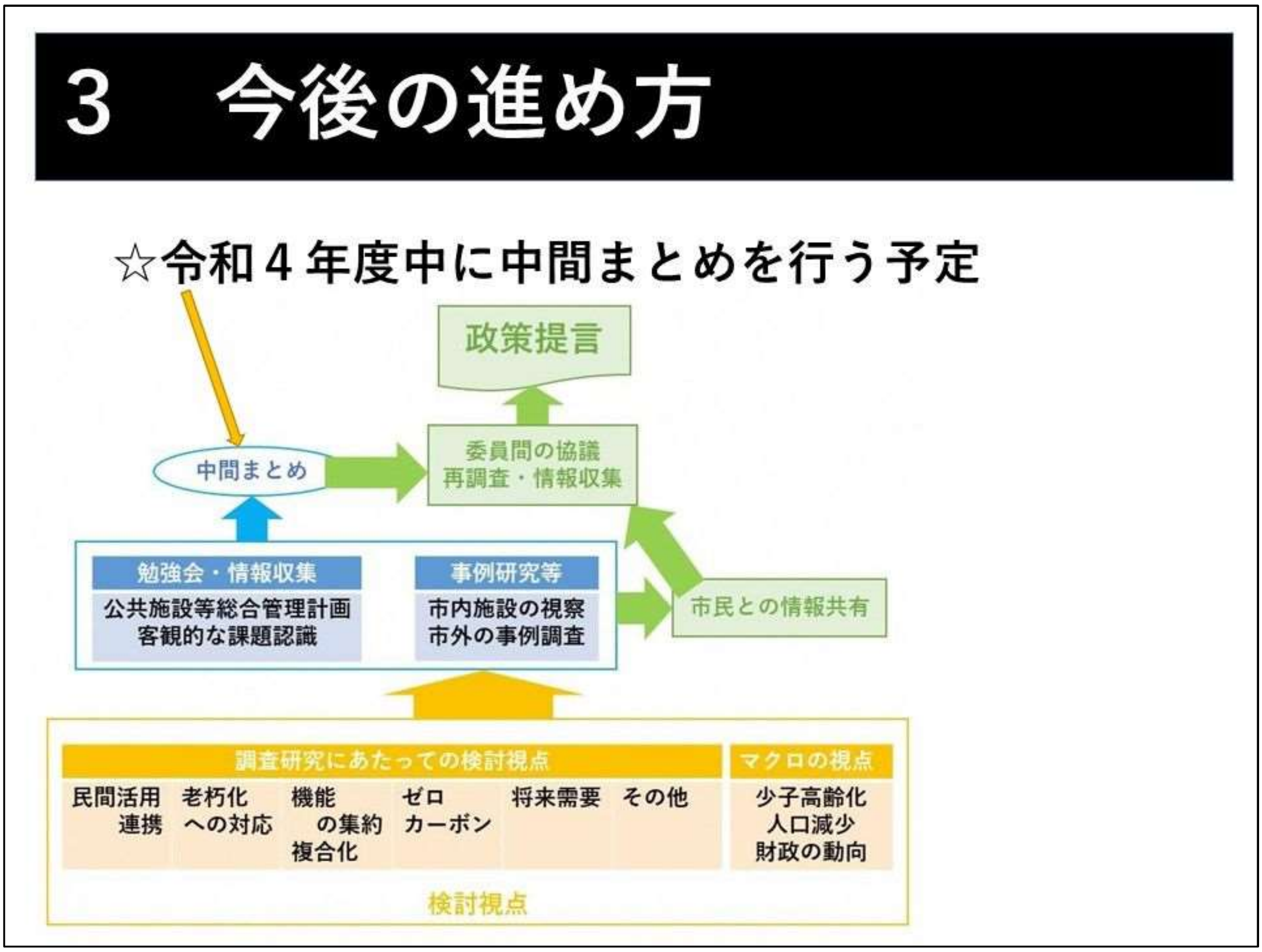
次に、委員会の調査検討経過を報告します。

まず、３月 24 日に特別委員会を開催し、正副委員長を選出。５月 11 日に第２回の特別委員会を開催し、公共施設等総合管理計画について当局からの説明を受け、質疑応答および意見交換を行いました。

次に、６月 24 日、第３回の特別委員会において、協議すべき論点を整理し、委員会としての調査研究する内容とスケジュールを確認、７月 20 日に施設類型別の課題として、「体育施設」「文化施設」「コミュニティ関連施設」など、用途別の施設類型別に当局から現状と課題の説明を受け理解を深めました。

８月 19 日には、静岡理工科大学教授の佐藤健司氏から、「多様性と分散のまちづくり」をテーマに、都市計画の基本と歴史、時代認識と課題などについて、学術的な考察も踏まえた講演の中で、磐田市への客観的な課題提起をいただきました。

８月 24 日には、公共施設の施設類型別課題について、再度、当局からの説明と質疑応答を通して、現状認識を深めました。



最後に、今後の進め方について報告します。

資料に示しましたように、事例研究を行った後、委員間で協議を行い、４年度中に中間まとめを行う予定です。

ご質問、ご意見等ありましたら、遠慮無くお寄せいただくようお願い申し上げ、報告といたします。